

The sky's the limit.

ユース審判員トレセンを開催しました

5月28日(日)に岡山スポーツフィールドにおいて、ユース審判員トレセンを開催しました。当日は女子ユース審判員4名が参加し、プラクティカルトレーニングを実施しました。今後も定期的に研修を重ね、それぞれが所有する資格から昇級できることを目指し、育成を進めてまいります。また、受講者の指名は行いませんので、男女問わず興味がある方のこれからの参加も歓迎します。希望者はお問い合わせください。

参加者からのコメント

副審のことだけではなく主審についても学べて、より審判をすることの楽しさを感じることができました！これからも沢山の講習会や試合を経験しさらに上のステージで活動していきたいです！(M.Aさん)
初めて聞いたことがたくさんあって勉強になりました。今後も同年代の子達と集まると嬉しいです！(H.Iさん)

マネージャーの仕事として副審しかやってこなかったのですが、主審の動き方なども学んで実際に挑戦してみたいと思いました！これから高校のリーグ戦の副審にも挑戦するので今回のユース審判トレセンはいい経験になりました！(N.Mさん)

自分の中で曖昧だった部分や、どのようにしたらより説得力のある対応になるかなどたくさんのごことを学ぶことができました。副審の練習では旗の角度や腕の伸ばし方、身体の向きや見るタイミングなど細かく教えていただき、とてもわかりやすかったです。笛を吹く練習では、ファールによって笛の長さや強さを変えたり、音色を少し変えたりととても細かなところまで知ることができました。18リーグなどで副審などをやる機会があるのでたくさん挑戦して自信を持ってジャッジできるように頑張りたいです。(M.Oさん)



佐藤インストラクターより

今回は、実際に主審や副審を担当した際に必要となる基礎の部分についてトレーニングを実施しました。

審判員は「正しい判定」を行うことは当然重要な事ですが、その判定について周囲に「毅然と伝える」ことも大切です。正しい判定をしたのに自信がなさそうな笛の音色やシグナルであれば周囲からの理解を得られない場合も出てきてしまいます。

短時間のトレーニングでしたが、こちらが伝えるポイントなどをすぐに理解してくれて、積極的に自分のものにしようとする姿に頼もしさを感じました。審判員のこれからの成長のため、指導者も今回得た学びを次に活かしたいと思います。

ユースを卒業した先輩審判員より

自分自身最初は分からないことだらけでしたが、他の審判員の皆さんのお陰で審判の大切さに気づくことができました。参加した4名のユース審判にはこれから沢山の事を吸収して実践して欲しいです。その為にはまず自分も日々学ぶ姿勢を怠らずに成長していくことが必要だと思います。今回のトレーニングを通してプレーヤーとは違った形でサッカーに関わり続けてもらえればとても嬉しいです。

- Referee Development Partner -

GOLD



にしみ子ども
クリニック

BRONZE

